令和4年度独立行政法人大学改革支援・学位授与機構学位審査会（第3回）議事要旨

1 日 時 令和4年11月14日（月）14時00分～14時30分

2 場 所 Web開催

3 出席者 大芝委員長，影山副委員長
天野，飯野，宇高，佐藤，椎原，菅原，舘石，西村，
本田，松尾，山口，山下（哲），吉川の各委員
（機構側出席者）
福田機構長，光石理事，絹笠理事，土屋研究開発部長，
宮崎研究開発部幹事，小野寺管理部長，平尾学位審査課長

4 令和4年度学位審査会（第2回）議事要旨について
確定版として配付された。

5 議 事

(1) 短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の審査の付託について

学位審査課長から，資料1-1から1-4に基づき，令和4年度10月期の短期大学及び高等専門学校卒業者等に係る学士の学位授与の申請状況について説明の後，機構長から学位審査会に，学士の学位授与の可否について審査が付託された。

この審査の付託を受け，令和4年度10月期における学士の学位授与の申請のうち，通例申請分においては修得単位の審査及び学修成果・試験の審査について，特例申請分においては修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査について，それぞれ担当する専門委員会・部会の指定が行われ，当該専門委員会・部会に審査が付託された。

(2) 認定課程修了者等に係る学士，修士及び博士の学位授与の審査について

学位審査課長から，資料2-1に基づき，令和4年9月に水産大学校本科を修了した2人に係る学士の学位授与の申請状況及び学位審査会判定案について説明があった。資料2-2に基づき，令和4年3月に水産大学校水産学研究科を修了し，令和4年8月の審査で判定を保留した2人に係る修士の学位授与に関する学位審査会判定案について説明があった。資料2-3に基づき，令和4年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した23人に係る博士の学位授与の申請状況について説明があった。また，資料2-4に基づき，令和5年3月の認定課程修了見込者のうち，防衛大学校理工学研究科前期課程の6人，同校総合安全保障研究科前期課程の10人，水産大学校水産学研究科の2人及び国立看護大学校研究課程部看護学研究科前期課程の1人の合計19人から，認定課程修了年度における修士の学位授与申請予定の申出が，また，防衛大学校理工学研究科後期課程の2人及び同校総合安全保障研究科後期課程1人の合計3人から，認定課程修了年度における博士の学位授与申請予定の申出があった旨について，それぞれ説明があった。

これらの説明の後，機構長から学位審査会に，学士の学位授与の可否について審査が付託され，審査の付託を受けた学士の学位授与の可否について審査が行われ，学士

の申請者2人が「合格」と判定された。また、令和4年度第1回学位審査会において審査が付託され、その後、判定を保留していた修士2人が「合格」と判定された。

博士（医学）の学位授与の申請については、論文の審査及び試験（口頭試問）を担当する専門委員会・部会の指定が行われ、当該専門委員会・部会に論文の審査及び試験（口頭試問）が付託された。また、令和5年3月修了見込の22人については、修士は令和5年1月10日までに、博士は令和4年12月20日までに申請があった場合には、学位審査会に審査が付託されたものとみなし、学位授与の審査を取り進めていくことについて、了承された。

(3) 短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査等の付託について

学位審査課長から、資料3-1に基づき、令和4年9月に受け付けた短期大学の専攻科1校1専攻からの認定申出について説明の後、機構長から学位審査会に、認定の可否について審査が付託された。また、資料3-2に基づき、令和4年度に提出された短期大学1校1専攻、高等専門学校1校1専攻からの学則変更の届出について説明の後、機構長から学位審査会に、認定の可否について再審査が付託された。

この審査の付託を受け、審査を担当する専門委員会・部会の指定が行われ、当該専門委員会・部会に教育課程及び教員組織等の審査が付託された。

(4) 特例適用専攻科の変更の届出に係る審査の付託について

学位審査課長から、資料4に基づき、短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科における令和5年度からの変更の届出について説明の後、機構長から学位審査会に、特例の適用認定の変更の可否について審査が付託された。

この審査の付託を受け、審査を担当する専門委員会・部会の指定が行われ、当該専門委員会・部会に審査が付託された。

(報告事項)

(5) 学士、修士及び博士の学位取得者数について

学位審査課長から、資料5-1に基づき、現時点での令和4年度4月期の短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位取得者数等、及び資料5-2に基づき、令和4年3月の認定課程修了者に係る修士及び博士の学位取得者数等について報告があった。

(6) その他

①令和5年度認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査の不実施について

学位審査課長から、資料6-1に基づき、令和4年度第2回学位審査会において教育の実施状況等の審査の対象専攻として報告された短期大学1校1専攻より、令和5年度からの学生募集停止と専攻科廃止についての届出があり、当該専攻については教育の実施状況等の審査を実施しないこととし、その旨対象校に通知することについて報告があった。

②新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置の改定について

学位審査課長から、資料6-2及び6-3に基づき、「新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置（令和4年4月19日機構長裁定）」を一部改定し、令和4年度10月期学位授与試験に対して必要となる事項を追加したとの報告があった。

その後、審査委員から、令和3年度からの本特例措置の実績について質問があり、特例措置を適用した実績はあった旨回答した上で、措置内容毎の件数等の詳細については追って、学位審査課より回答することとした。

③独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に置かれる委員会における委員及び専門委員の選任方針について

学位審査課長から、資料6-4に基づき、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に置かれる委員会における委員及び専門委員の選任方針について（平成28年3月8日機構長裁定）の一部改正により、「基準3 多様性の確保」の（2）の通り、審査委員については「委員に占める女性の割合は40%を目標とする」こと、（3）の通り、専門委員については「委員に占める割合は、（2）を踏まえ、適正な割合となるように努める」ことが求められていることから、学位審査会においても各委員会等の個別事情や専門性に留意しつつ、本方針の趣旨に沿って委員の選任を行っていくこととしたいとの報告があった。

以 上